

安平・厚真行政事務組合のページ

平成 21 年度のごみ処理状況

安平・厚真行政事務組合では、2年前より毎年広報を通して1年間のごみ処理の状況を公表しています。

平成21年度において、二町(安平町・厚真町)の皆さんが出されたごみの排出量やリサイクルの状況、ごみ処理にかかった経費をお知らせしますので、発生源である私たち一人ひとりが今一度『ごみ問題』について考えてみましょう。



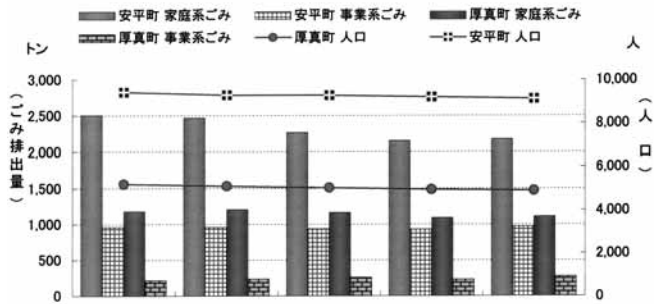
ごみの排出量

安平町・厚真町における過去5年間の家庭系及び事業系のごみ排出量と人口の推移はグラフ1のとおりです。

平成21年度は前年度と比べ、家庭系と事業系のごみを合わせて安平町で62トン、厚真町で59トン増えました。増えた要因を分析しますと、家庭系のごみは下げ止まりから微増となっており、また、事業系は前年度に安平・厚真両町で実施した緊急雇用対策事業の実施に伴う町道、河川敷、公園の枝払いによる枝木の搬入によるものと考えられます。

ここ数年、安平・厚真両町の家庭ごみは大きく減少していましたが、平成21年度の実績に現れたように減量の下げ止まりの局面と思われまます。ごみを継続的に減らし続けることは不可能ですが、無駄なごみを増やさないことだけは常日傾心がけたいものです。

【グラフ1 ごみ排出量・人口推移】



| | 安平町 | | | 厚真町 | | |
|-------|---------------------|-------------------|--------------------|---------------------|-------------------|--------------------|
| | 家庭系ごみ | 事業系ごみ | 人口 | 家庭系ごみ | 事業系ごみ | 人口 |
| H17年度 | 2,508 ^{トン} | 962 ^{トン} | 9,419 ^人 | 1,181 ^{トン} | 217 ^{トン} | 5,191 ^人 |
| H18年度 | 2,468 ^{トン} | 958 ^{トン} | 9,279 ^人 | 1,206 ^{トン} | 236 ^{トン} | 5,102 ^人 |
| H19年度 | 2,267 ^{トン} | 937 ^{トン} | 9,270 ^人 | 1,164 ^{トン} | 258 ^{トン} | 5,028 ^人 |
| H20年度 | 2,153 ^{トン} | 930 ^{トン} | 9,186 ^人 | 1,091 ^{トン} | 231 ^{トン} | 4,941 ^人 |
| H21年度 | 2,175 ^{トン} | 970 ^{トン} | 9,115 ^人 | 1,107 ^{トン} | 274 ^{トン} | 4,900 ^人 |



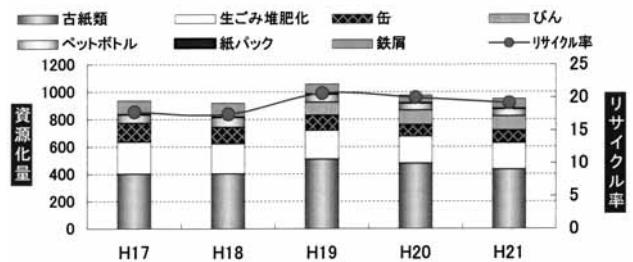
資源化の推移

平成21年度のリサイクル率は前年度対比で0.9ポイント下がりました。主な要因として古紙類が減少し、その一方でごみの排出量が増えたことによります。

(単位: トン・%)

| | H17 | H18 | H19 | H20 | H21 |
|------------|------|------|------|------|------|
| 鉄屑 | 98 | 100 | 71 | 55 | 71 |
| 紙パック | 3 | 2 | 2 | 2 | 2 |
| ペットボトル | 62 | 73 | 59 | 52 | 53 |
| びん | - | - | 95 | 105 | 105 |
| 缶 | 138 | 125 | 111 | 84 | 93 |
| 生ごみ堆肥化 | 232 | 220 | 211 | 199 | 193 |
| 古紙類 | 403 | 402 | 508 | 477 | 432 |
| リサイクル率 (%) | 17.7 | 17.4 | 20.6 | 20.0 | 19.1 |

【グラフ2 資源化の推移】



【グラフ3 平成21年度ごみ処理経費の内訳】

| | | |
|-----------|-------|-----------|
| 収集運搬経費 | 18.3% | 70,427千円 |
| ごみ処理経費 | 28.6% | 110,182千円 |
| 処理場維持管理経費 | 12.8% | 49,576千円 |
| 新設改良費 | 21.3% | 82,058千円 |
| 人件費ほか共通経費 | 5.6% | 21,461千円 |
| 公債費・議会費等 | 13.4% | 51,674千円 |

※グラフ中、公債費は施設整備のため国などからの借入金の償還金、議会費等は組合議会の経費並びに監査委員経費です。



ごみの処理経費

平成21年度のごみ処理経費の総額は、385,378千円で内訳はグラフ3のとおりです。

ごみの収集運搬経費、ごみの焼却・埋立・資源化などを行うごみ処理経費、組合の処理場の維持管理経費及び人件費等が直接ごみ処理に要した経費で、1トンあたり約55,000円の処理経費になります。また、平成21年度は、焼却施設や煙突を解体したストックヤード施設を整備するための新施設改良費が新たにかかりました。